

地域おこし協力隊 蜂須景子の活動レポート vol.6



▲地域おこし協力隊
Instagram

最近、子どもたちから「キーホルダー作った人」と声をかけてもらい、とても嬉しく、励みになります。

- 今回、「レモンを使った料理を教えて欲しい」とお願いされ、色んな料理を作りました。
- ・レモンの皮を入れ、レモン1個分のシロップをかけて一晩冷蔵庫で寝かせたパウンドケーキ
 - ・レモン汁が入ったイチゴのムースケーキ
 - ・レモンと蜂蜜で煮込んださつまいも
 - ・レモンと野菜と一緒に蒸した鶏肉
 - ・レモンと一緒に漬けた浅漬け竹の子
 - ・レモンをオリーブオイルに漬けて入ってブロッコリーと炒めたイカ
 - ・レモンをのせた塩ラーメン

どれもおいしいですが、私のお気に入り、レモン塩ラーメン!!さっぱり・すっきりで食べやすく、おかわりしたくなります。もちろん、スライスレモンを焼酎に入れて飲むのも大好きです。

レモンを使った料理教室も考えておりますので、開催する時はぜひご参加ください。



▲レモンを使った料理はどれもさっぱりとしておいしいです

「人が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町」 人権啓発コーナー

新しい生命の誕生を迎える季節です。写真はキジバトが卵をかえしている様子です。1週間以上こんな状況です。それまでには、安心安全な場所を探し求め、卵をかえし、ヒナを育てる場所を探します。

メスは一途に卵を温めます。オスは、周りを見守ります。これを毎年繰り返して子孫を残していきます。

現在、子どもを取り巻く環境は大きく変化し、子どもたち一人ひとりの人権が守られているか心配されます。

家庭においては、経済的な問題や地域における人間関係の希薄化などに伴う育児不安や育児ストレスの増大などにより、児童虐待問題が深刻化しています。

学校においては、いじめや不登校、中途退学の課題への解決に向けて取り組まれています。

子どもの人権を守り、子どもたちが社会的に自立していけるよう、保護者だけが子育てに関わるのではなく、社会全体で子どもの健全な成長を支えていきましょう。

「家庭・学校・地域社会で子どもを守り、育てましょう。」

☎ 生涯学習課 生涯学習係 ☎0965-52-5860



八火図書館 だより

新着図書	
一般書	児童書
その扉をたたく音 瀬尾 まいこ／著	葉っぱにのって 濱野 京子／作
オフマイク 今野 敏／著	道ばたの小さな草花図鑑 一日一種／著
本好きの下剋上 第5部 香月 美夜／著	窓をひろげて考えよう 下村 健一／著
まねき通り十二景 山本 一力／著	ほんちゃん スギヤマ カナヨ／作
スマホ脳 アンデシュ・ハンセン／著	あおぞらこども食堂はじまります！ いとうみく／作

【お問い合わせ先】 八火図書館 ☎0965-62-3489

6月に入り、これから雨の日が多くなります。この時期は雨が多く室内で過ごす機会も増えますね。

ただいま八火図書館では『2021年本屋大賞』の受賞作を特集コーナーにて紹介しています。全国の書店員が選んだおすすめの作品が目白押しとなっています。

お気に入りの一冊を見つけてゆっくり読書してみるのはいかがでしょうか。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用制限をする場合があります。



氷川町人材育成研修助成制度

この助成制度は、町民が自主的に行う人材育成研修の成果により、町の発展に貢献されることを目的としています。これまで小中学生の東北被災地研修や地域づくり全国研修会、農業者の海外研修などを助成しています。



対象研修

国内外の先進地での研修、調査および視察で、以下の目的のために実施するもの。

- (1) 教育、文化および産業などの分野で、視野を広め、知識や技術などを身に付けるため
- (2) 地域が抱える課題解決の手法を体得するため

※研修後の町内への波及効果が期待できないものや、助成意義が薄いものなどは対象外

対象者

以下の全ての要件を満たすこと。※同一の研修への申込は5人以内

- (1) 町内に居住し、申請時点で満年齢60歳以下の人
- (2) 地域活動や団体活動に参加するなど、研修後、その成果を積極的に生かせると認められる人
- (3) 過去3年以内にこの助成制度の交付を受けていない人

助成額

交通費、宿泊費の実費額（条例で定められた額を上限）、研修に必要と認められる費用を対象とし、その7割以内の額を助成します。

※国内は10万円、国外は30万円が上限となります。（1,000円未満切捨て）

※助成の適否は、氷川町人材育成派遣研修選考委員会で審査されます。

申請方法

制度内容や申請書提出時に必要な書類の説明を行います。詳しくはお問い合わせください。

申請期限

令和4年1月31日（月）まで

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、受付できない場合があります。

【お問い合わせ先】 宮原振興局 地域振興課 地域振興係 ☎0965-62-2315

家に眠っている衣類はありませんか?～ペルー共和国貧困支援のための衣類回収～

ペルー熊本県人会名誉会長の平岡ルイス氏の父、故平岡千代照氏が南鹿野地区出身であることが縁で、ペルー共和国（以下、ペルー）で開催された熊本県人のペルー移住に関する記念式典への本町関係者の訪問や、平岡氏ご一家も来町されるなど、ペルーとの交流を深めてきました。

また、平岡氏からは竜北西部学童保育所の建設に対する寄付もいただいております。

平岡氏より、「ペルーは貧富の差が大きく、日常生活に必要な衣服すら手に入らない人がおり、衣類の支援をしていただきたい。」との相談があり、町では、町民の皆さまにご協力いただき、家庭で使っていない衣類を回収し、昨年12月に1,726枚の衣類をペルーに輸送しました。

町は、継続的に支援するため、今年もご家庭で使っていない衣類の回収を実施します。

回収方法など、詳しくは今月号の折り込みチラシをご確認ください。

☎ 地域振興課 地域振興係 ☎0965-62-2315